

富士第一小学校 コミュニティ・スクールについて

- 1 子どもたちや学校を取り巻く環境が複雑化・多様化する中、子どもたちや地域の未来を創るためには「社会総掛かり」で対応することが必要な時代となった。今までも連携を強めてきたが、更に学校・家庭・地域による一体的な取組が必要である。

富士第一小学校は、令和2年度からコミュニティ・スクールの指定を受け、学校運営協議会を設置し、地域との結び付きをより一層強くしている。

＜地域の課題＞

少子高齢化、自治会未加入、地域の担い手、こども会の弱体化、地域の行事、伝統文化の継承、外国人居住者、空き家の増加、防災防犯 等

＜学校の課題＞

小中一貫教育、こどもの安心安全、不登校、いじめ、生徒指導、キャリア教育、働き方改革、SNS、外国籍児童の増加 等

ビジョン「わたしたちの地域を担う 子どもたちの輝く未来のために」

- ・学校と地域が連携・協働する。
- ・学校と地域で目標とビジョンを共有する。
- ・学校運営に地域の声を活かし、地域と一体になって特色ある学校づくりを進める。

- 2 令和8年度の学校運営協議会（予定） ※変更の可能性があります。

- ・第1回 令和8年 5月18日（木）13:30～ 委嘱状の交付、本年度の方針
- ・第2回 令和8年 7月16日（木）12:10～ 給食参観、児童会運営委員との懇談
- ・第3回 令和8年 9月 9日（水）15:15～ 後期に向けて先生方との懇談
- ・第4回 令和8年 12月16日（水）13:20～ 授業参観、学校評価の結果について
- ・第5回 令和9年 2月25日（木）13:00～ 次年度の学校経営方針（承認）
児童会運営委員との懇談

- 3 令和7年度までの実績（主なもの）

(1) 学校運営協議会全体として

- ・見守り活動（令和3年度から令和7年度）

見守り缶バッジをつけ、地域全体で子どもたちの見守りを行っている。この缶バッジは、学校運営協議会で発案し、子どもたちがデザインを考え、富士駅北まちづくり協議会が作成したものである。町ではまちづくり協議会の役員や見守り活動に協力する大人が、学校では教職員がこの見守り缶バッジを付けて、子どもや保護者に周知している。見守り活動は、地域全体が挨拶でつながる運動とも連動させている。引き続き、地域全体が大きな声で挨拶を交わし、地域全体がつながれるようにしていく。

- ・学校運営協議会委員と児童会運営委員との懇談会や教職員との懇談会

地域の担い手である子どもたちの思いや、健やかに育ってほしいを願う先生方の思いを協議会委員が直接聞く時間を学校運営協議会の中で確保している。R7年度はトークフォークダンスを行った。直接対話し情報を共有することで、お互いに課題を共有したり、熟議したりすることができ、新しいまちづくり協議会の事業や新しい連携につながったりしている。

(2) 学校全体として

- ・富士市の「ふれあい協力員制度」を利用し、年間を通して保護者だけでなく、地域の大人も各学年の様々な行事や授業においての付き添い、見守りなどの御支援、御協力をいただいた。
- ・地区の文化祭「かじま祭り」や富士本町の軽トラ市&エキキタテラスのエキキタこどもアート展へ富士一小の子どもたちの作品を展示した。
- ・クラブ活動（茶道、華道、モルック、ボッチャ）で地域の方に講師をお願いし、充実した活動を行うことができた。

(3) 各学年の学習活動と地域とのつながり（一部抜粋）

〈1年生〉

- ・生活科「交通安全教室」で、地域の交通安全活動推進委員や交通安全指導員、お家の方に見守られて安全な道路の歩き方を学んだ。
- ・生活科で地域の方に七夕用の笹をいただき、笹の飾り付けや七夕行事を楽しんだ。
- ・生活科「むかしのあそび」で、地域の方々の支援によりむかしの遊びに親しんだ。

〈2年生〉

- ・生活科で、富士本町及び周辺の商店街に子どもたちが探検やインタビューに出掛けたり、買い物体験をしたりした。
- ・生活科で富士駅探検や公共施設の見学にも出掛けた。JR富士駅の職員から駅について説明を受けた。切符や都まんじゅうの購入体験も行った。
- ・地域の畑を借り、さつまいもの育て方を教わったり、収穫物で調理したり、地域の方を招いてお祭りを行ったりした。

〈3年生〉

- ・総合的な学習の時間で、富士市社会福祉協議会の職員の講話やアイマスク・白杖、車いす、高齢者疑似体験セットを借用し、弱者の立場に立った実践的な学習を行った。また、地域行事（かじま祭り）や学校行事（一笑フェス）で、学習したことを使って発表する機会を行った。
- ・社会科で、学校南側にある王子パッケージングを見学した。
- ・図画工作科「釘打ちトントン」で、フジモクの社員に木材について教えてもらい、富士市の木材を使ってくぎの打ち方を教わった。

〈4年生〉

- ・社会科「防災学習」で、区長等地域の方々と一緒に実際に通学路を歩き、災害時に想定される危険個所を見付けたり、防災倉庫を見せていただいたりした。地区によっては消防団による実際の放水設備の紹介や放水実践等もした。
- ・社会科「中堀探検」で、地域の方に「中堀の仕掛け」について話を聞いたり、実際に中堀を探検しに出かける計画をした。（感染症蔓延のため中止）
- ・国語科の落語「ぞろぞろ」を、地域の方に実際演じてもらい、落語を楽しんだ。
- ・図画工作科「ギコギコ トントン」で、フジモクの社員にのこぎりの使い方とくぎの打ち方を教わり作品を作った。

〈5年生〉

- ・総合的な学習の時間「夢や希望が広がる わくわくする街をめざして」で、市街地整備課の職員の講話を聞き、富士駅前発展について考えた。駅北地区の調査をし、商店街の方へアンケートやインタビューを行った。広報部は街の魅力を発信するためのポスター作りや駅北を知ってもらうクイズづくり、新しいキャラクターの発案を行った。商品開発部は地元をPRするために富士市の特産物や商店街の目玉商品に関連した新しい商品の開発をした。美化部は地域のお祭りで実際に美化活動を行った。子どもたちが実際に街の人とつながって学びを深めていった。

〈6年生〉

- ・「交通安全リーダーと語る会」で、地域の交通安全推進委員など交通安全活動に関係する方々や区長さんや区の役員の方と交通安全について語り合った。

〈5.6.7組〉

- ・地域の方からいただいた苗で、たらいを用いた稲作に挑戦し、稲を収穫したり、お飾りを作ったりした。